

会議録

令和4年第4回

仙南地域広域行政事務組合  
教育委員会定例会会議録

令和4年11月25日開議

## 令和4年第4回仙南地域広域行政事務組合教育委員会定例会会議録

1. 召集日時 令和4年11月25日（金） 午後2時
2. 召集場所 仙南地域広域行政事務組合総合庁舎 講堂
3. 出席委員 教育長 船迫邦則、委員 半沢芳典、委員 鈴木仁一
4. 欠席委員 委員 阿部 誠、委員 永井 哲

### 5. 説明のため出席した者

教育次長兼視聴覚教材センター所長 加藤雅章、  
仙南芸術文化センター館長 玉渕博之、  
仙南芸術文化センター主幹兼総務係長 渡邊一弘、  
教育係長兼文化振興係長 山田純土、  
主事 若林あい子、主事 三ツ澤音々

### 6. 開 会 午後2時

### 7. 令和4年第3回仙南地域広域行政事務組合教育委員会定例会会議録の承認について

船迫教育長	会議録について承認を求めます。
( 質 疑 )	<ありません>との声
船迫教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

### 8. 会議録署名委員の指名

船迫教育長	私のほか、半沢芳典委員にお願いいたします。
半沢委員	はい。

### 9. 報 告

#### 報告第1号 主な事業等の経過について

教育委員会事務局・視聴覚教材センター事業の経過については山田係長、仙南芸術文化センター事業の経過については若林主事より、資料1にてご報告申し上げる（報告後、事業の様子をまとめた映像をご覧いただいた）。

( 質 疑 )	
船迫教育長	ネット配信とか YouTube 公開とか、新たな取り組み、そしてサンタプロジェクトもこれまでの3町から2市7町に対象枠を広げてということで進化しているなどという感じがします。
鈴木委員	今、映像を見せていただいたんですが、一点、2ページのおでかけ！あずなびあ！のところで、スフィロミニでプログラミング体験というのがございますが、多分児童クラブ対象だと思うんですが、ちょっと映像では内容が分かりづらいところがあったので、時間的なもの、内容的なもの、もう少し詳しく説明していただければと思います。半日ぐらいの時間なんですか。
三ツ澤主事	トータルの時間としては90分ぐらいで、それを2つとか3つのコースに分けて、それぞれ30分ぐらいずつを2回転、3回転する形で行いました。今回は低学年の子どもたちが多かったので、プログラミングの入り口ということで Sphero Play（スフィロ・プレイ）というアプリを使って、タブレットを指で操作したり傾けて操作したりして、ボール型の小さいロボットを動かしてもらいました。あとは条件分岐を使ったアニマルトスというプログラミングを行いました。スフィロをリレーのバトン代わりにして、スフィロを揺らすと動物の鳴き声がするという設定にして、鳴き声にならないようにみんなでリレーするような使い方でプログラミングに触れていただきました。

鈴木委員	加えてなんですが、実際に学校現場に、例えばそういう機器なんかを持ち出して指導者が直接的にあるいは間接的にでも指導はしていただけるものなんですか。
加藤教育次長	これまでにこのスフィロミニというプログラミング教材を導入してから、例えば今ご質問いただいたの一番近い形だと、白石市の小原小学校にお邪魔しまして、そこで低学年向けと高学年向けということで、講座を実施したことがございます。事前に学校のほうにお伺いして、ある程度こういった内容をやりますということをお先生の方へご説明をさせていただいて、そのうえで我々視聴覚教材センターの職員が現場に赴きまして、その場で子どもたちと一緒に、例えばプログラミングを組んで、物自体は小さいボール型のものなんですが、そのボール型のロボットをどのように動かしてコースをクリアするかみたいなことを、低学年は基本的に遊びの要素多めに、高学年についてはある程度プログラミングで、いわゆる条件分岐であるとかそういったものも組み込みながら、プログラミングの入り口に立っていただくというような講座の内容を実施しております。今現在、タブレットとプログラミング教材、だいたい講師の方も合わせて11台ありまして、例えばそれを学校でやるという場合、1クラス全員にいきわたらせるというのは予算的な問題もあって至ってはおりませんが、これを例えば二人一組とか三人一組とかで、みんなで考えながらプログラミングを考えようみたいな形での講座等はできますので、ぜひ各市・町の学校等でもご利用いただければというふうには思っております。
鈴木委員	実を言うと村田町は来月、生涯事業の一環でプログラミング体験ということで社会教育事業をやるんですが、来年度から一応小中学生にコンピューター導入するというか、小学校では micro:bit (マイクロビット) というロボットも付いた状態のプログラミングをする予定です。中学校では Life Is Tech! (ライフイズテック) という教材配信サービスを導入して来年度からやっていくという計画でおります。貸し出しも仙南広域でできるという話もお聞きしています。事務所のほうにもそういうようなプログラミング教材などもあって、チラシなども盛んに準備に入っているところです。ですから、いろんなノウハウを今年度中にいろいろ仙南広域のほうから取り入れながら、ぜひ来年度に向けて実現したいなと考えていたものですから、お聞きしました。
船迫教育長	学校への協力も惜しみませんよということですね。映像を見ていると、非常に臨場感溢れて伝わってくるものがあるので、こういったものを首長さんたちにも観てもらえる機会があったらいいなと思いますね。こういう取り組みも協力してもらえらんだというプラスの情報も得られました。映像は何かしら活用する方策なんかも講じていただければと思います。
半沢委員	私はえずこサンタプロジェクトについて、とてもすばらしい取り組みだなというふうに思いました。2市7町全体に広げてもらったことについて、大変感謝申し上げます。この就学援助を受けているご家庭というのは、先ほどの保護者の方の感想にあったように、やっぱりこういう体験が少ないんですよ。こういう方を招待していただけるっていうのは大変ありがたいなと。次年度もぜひ継続をお願いできればと思います。あとは、それでも保護者と一緒じゃないと難しいので、なかなか大変な部分はありますが、でも全員というのは無理だとしても、こういう活動を重ねていくことが大事なんだと思います。

## 10. 議 事

### 議案第1号 令和5年度仙南地域広域行政事務組合視聴覚教育事業計画(案)・仙南広域圏の振興発展に資する事業計画(案)について

山田係長より別紙(資料2)にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
半沢委員	この教材選定について、先ほどアンケートを取ってどういうニーズがあるか把握

	すると。これすごく重要だと思ひまして、先ほど鈴木委員からプログラミングについての話がありましたが、当然当センターについても予算は限られていると。やっぱりニーズはどこにあるのかということが極めて重要で、限られた予算を効率的に使っていくためにも、一体何を求められているか、私なんか単純に思うと、ほとんど需要がないものに一定のお金をかけるよりは、需要が高いもの、今の子どもたちに今後必要になるものにお金を振り分けたほうが、実際、予算を増やすのは、言うのは簡単だけどそんなに簡単なことではないので、こういうふうに変わっていくっていうのはとっても大事なことなのではないかというふうに思ひます。もう解消しても私なんかはいいんじゃないかと個人的には思うぐらいで。やっぱりスクラップ・アンド・ビルドという言葉があったり、ビルド・アンド・スクラップという言葉があったりしますが、当然こういう過渡期にはそういうことが必要。もちろん一定数こだわるという人はいるのですが、合意形成していかなくてはならないと思ひます。急激にやってほしいという意味ではないのですが、ぜひこういう検討は今後も続けていってほしいと思ひます。
加藤教育次長	今、まさにおっしゃられた通り、先ほどプログラミング教材の導入数に関して限られた予算の中でということに触れさせていただきましたが、限られた予算をどのように振り向けるかでより多くのニーズに応えられるかというのは、教材センターの命題でもあると思ひますので、これについては要望の吸い上げ等、今までやってきた形以外により効率よく、なおかつ、より現場の声を吸い上げられる方法というのは模索しながらやっていきたいと思ひております。

議案第2号 令和5年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター事業計画（案）について

玉湊館長より、別紙（資料3）にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
船迫教育長	説明いただきました。2ページのえずこシアター、伊藤さんが関わってるやつね。
玉湊館長	そうです。伊藤さんが会長です。
船迫教育長	うちの町役場の職員が関わってるんだけど、話をすると楽しいって言っている。こっちは観ていて楽しい、彼は演じて楽しい。何が楽しいかという、演じた時のお客さんの笑顔、ああいうのが非常にエネルギーになるし、やってる者同士のつながりが出てくるという、人とのつながりね。
玉湊館長	最近、演出の中に、来たお客さんと掛け合いをするというシーンがあちこちに盛り込まれているんですね。お客さんにインタビューするみたいなシーンが演劇の中であって、それはほぼアドリブになっているのですが、プラス身体表現でダンスをやって、お客さんと一体になるようなそういうシーンを作ったり。やはりただ一方的に演じるのではなくて、来たお客さんといろんな感覚を交換する、そういう演出が入ってくことで、参加されている皆さんも充実感があるのかなと感じています。
船迫教育長	チャレンジ精神があつていいですね。
鈴木委員	感想なんですけど、やはり4年度の評価・検証を受けての5年度の事業計画ということなので、より一層内容が充実しているなという感じを受けます。それをぜひ実際に実現できるように、大変でしょうがいろいろ調整していただければと思ひます。
半沢委員	非常にバランスが取れていると思ひます。
船迫教育長	サンタプロジェクトも続けてほしいと思ひます。

議案第3号 令和4年度仙南地域広域行政事務組合教育費一般会計補正予算（第3号）（案）について

三ツ澤主事より、別紙（資料4）にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
船迫教育長	質問、異議はございませんか。 <なしとの声>
	原案のとおり決定

**議案第 4 号 令和 4 年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計補正予算（第 2 号）（案）について**

渡邊主幹より、別紙（資料 5）にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
船迫教育長	質問、異議はございませんか。 <なしとの声>
	原案のとおり決定

**議案第 5 号 令和 5 年度仙南地域広域行政事務組合教育費一般会計当初予算（案）について**

三ツ澤主事より、別紙（資料 6）にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
船迫教育長	質問、異議はございませんか。 <なしとの声>
	原案のとおり決定

**議案第 6 号 令和 5 年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計当初予算（案）について**

渡邊主幹より、別紙（資料 7）にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
半 沢 委 員	4 ページ、施設管理業務委託料のところですが、前年度比だと倍以上になっています。組み換えによる委託する業務を増やしたこと、それから人件費増を見込んでいるということになっていますが、一部、施設管理委託に組み込むことによる減という項目があるので分かるのですが、主なもの、倍以上になったものをもう少し具体的に教えてください。
渡 邊 主 幹	前回契約の時から 5 年経ったということで、大きくは人件費の増額というのが主な理由です。あとは、上がった要因としましては、前回の入札の時に業者さんが頑張られたということが正直大きいところです。今回に関しては、そのままの数字が上がってきています。
船迫教育長	今回、3 社から見積もりをとっての額ということですね。
玉 瀧 館 長	はい。
加 藤 教 育 次 長	今入っている業者さんは、えぞこホールがオープンした当初からずっとやっていて、前回の入札の際にかなり安く入れるという噂の新規の業者さんが指名にも入ってきたということで、相当頑張ったということが経緯としてあったというふうには私も聞いておりますけれども、適正な契約額という観点からも、こういうことがないように、今後の契約の際には留意していきたいなというふうに思っています。
船迫教育長	ほか、質問、異議はございませんか。 <なしとの声>
	原案のとおり決定

**1 1. 協 議**

**次回教育委員会定例会の日程について**

山田係長より、資料 8 にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
船迫教育長	令和 5 年 3 月 2 3 日（木）午後 2 時から、次回の定例会を実施いたします。

12. その他

(1) 仙南ふるさとC-M (コミュニティ・メディア) グランプリについて

山田係長より、資料9にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

(2) AZ9ジュニア・アクターズ結成30周年記念公演について

加藤教育次長より、資料10にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
半 沢 委 員	公演そのものとは直接関係がないのですが、これを拝見すると30期生7人ですよ。29期生が9人。募集の人数は何人を予定していたのですか。
加 藤 教 育 次 長	予定の人数というのは毎年想定はしておりません。ただ、これまでの活動の中で、だいたい平均して13とか14とかそれぐらいの人数が毎年入っています。年によって、多い年は20人とか入っていただいたりとかいうのもありましたので、その意味では人数的にはふるわなかったなというのはございます。
半 沢 委 員	ちょっと気になる場所がありまして、去年も市長とかとどう続けていくのか議論してきました。大事なことから、負担をしてもと思います。やはりこの人数は、いくら少子化とはいえ、このところ平均の半分ぐらいですよ。ちょっと考えなくてはならないですよ。例えば、今回、白石の農業祭で踊ってもらいましたが、認知度をどう上げていくかという点でやはり一定数はいると思うんですよ。いくら少子化の中でも2市7町の中だから、7人っていうのはやはり残念だなという数字です。どういうふうにして認知を上げていくのかということもやっていかないとけませんね。私が一番心配しているのは、財政的にも負担を延長するのにどんどん尻すぼみになっていくと、気が付いたら人が集まらない、子どもたちが集まらないというのだけは考えなくてはいけない段階にきているのかもしれない。どういうふうを増やしていくかぜひ検討していただきたいです。増えればいいという話ではないのは分かっているんですが、以前と比べるとちょっと気になる推移かなと思います。
船迫教育長	そうですね。ここ2、3年はコロナの影響というのもの、確かに声を聞いてみると、混ざりたいけどもコロナが心配だと言うような声も聞こえてきています。なんとかコロナが終わって、交流するのもよしというような状況が来ないかなと思っています。
半 沢 委 員	そこをずっと心配していて、コロナでいろんなところが制約を受けて、これは別にAZ9に限ったことではないです。ところが、今はウィズコロナ、やがてどこかでアフターコロナがやってきます。単純にコロナが終わったら戻るのか、おそらく戻らないと思います。やはり生活スタイルというのは変わってきてしまっています。それを考えると、やっぱりここが頑張りどころですね。そんな気がします。
加 藤 教 育 次 長	望むと望まざると、コロナが今回あったことで、世の中の行動が変わったというのはまさにその通りだと思います。私どもとしても今の状態がいいとは当然思っておりませんで、その中でまずどうやったら参加していただけるかということ、いろんな人に観ていただく機会を増やすのは必須だということ。先ほど白石の農業祭の例を挙げていただきましたけれども、来年度以降、知っていただくということと関わっていただくということで、各市町に出て行って、演劇を体験できるワークショップを提供しながら、興味がある人を、言葉は悪いですけど1本釣りするとか、そういった形も取り組んでいくことも考えております。また、コロナの状況を見ながらアウトリーチだとかそういう機会も増やしていきたいと思っておりますし、あとはこれまでの事業の見直しの中での課題ということにもなりますが、やっぱり保護者の負担が大きいというような意見もありますので、その負担軽減につきましては今年度から取り組み始めているところでもございますので。早々にコロナが落ち着いてくれることも期待しつつ、見直せるところは見直

	してやっていきたいと思っております。
半沢委員	AZ9ジュニア・アクターズは演劇好きの人だというのは基本だと思うんです。舞台上、ステージでパフォーマンスする、これはいいんです。やはり、対象を広げるために、切り口を少し工夫する必要があるかと思います。今のコロナ下で、ハイブリッドってよく言いますよね。リアルとデジタル、私が今感じているのは、リアルの部分を大事にしていかなきゃいけないと思っています。さっき、えぞこサンタプロジェクトのところで感想を読んでもらって、あれってすごく重要だと思います。こういう子どもたちがこれに参加してこんなことを得ている、もっと子どもの声、参加している子どもの声であったり保護者の声っていうのを積極的に発信していく、どんな子どもたちが、実は身体を動かすというだけではなくて、こんなことをやっぱり学んでいるとか、こんなプラスがあったんだっていうのもっと打って出ないと、なんか負担も大きいし身体を動かすのも嫌みみたいなことになってしまいます。この前、在仙のマスコミ、テレビ局の人と話したのですが、テレビ局、僕らで言えばメジャーな感じがするけど、もうやれないと思っているそうです。本当なのかなと思って、学校を通して子どもたちにいろいろ聞いてみると、今の子どもたち、テレビを見ません。つまり、マスメディアじゃないんですよね。YouTube だったり、もうパーソナルに変わっているようです。みんなでやるのが、スポーツもそうだけど、アクターズもそうだけど、やっぱりそこから得られるものというのをもっともっと発信していかないといけません。現役の、保護者、住民、子どもたち。そうしなければ、みんなパーソナル、個に個にとなっているから、演劇なんて成り立たないということを危惧しています。私は、応援したいっていう立場なので、ぜひ一人でも多くの子どもたちにこういう体験、参加をしてほしいと思います。批判しているわけではなくて、やはりそういう子どもを視野に入れながらやってもらおうと大変いいかなと思います。
船迫委員長	ちなみにこれは各学校に配っているんですか。
加藤教育次長	これは一人一枚という形でお届けしていますし、募集チラシについても同様です。
船迫委員長	子どもたちの声なんか、今、半沢委員が言ったように分かってくると、僕もやってみるかな、私もやってみるかななんてそういう感想が出てくることと思います。
加藤教育次長	募集チラシのほうには、そのような形で保護者の声を掲載しています。
鈴木委員	今お話があったとおり、やはり広報活動はしていく必要があると思います。結局多くの方に知ってもらって、確かにそれもやっているとは思いますが、なかなか集まらないというのが現状だと思うんです。村田町だとスポーツランド SUGO がありますが、あそこでは2輪と4輪をやっていて、年間を通してレースがあるわけなのですが、村田町内には招待券を配ったり、あるいは小・中学生を対象に、夢教室みたいな感じでレースがある週、例えば今週の土日にあるという時には、当然選手たちはその週の月・火あたりに来ているんですよ。そうするとその間、練習、コースに慣れると同時に時間があるので、学校に行ってもいいし、スポーツランドに来ていただいてもいいということで、小学校2年生とか3年生の子どもたちに、ヤマハのバイクに乗ってもらったり、交通教室をやったりしています。逆に中学生は、2輪とか4輪の実際のテスト走行をしている200キロぐらいのスピードを出した大型バイクがピューンというところを見ていただいたりして。それで今週日曜日にレースがあるから、招待券をお渡ししてお父さんお母さんと来てくださいみたいな、そういう作戦だったり。あとこの間、お騒がせをしたのですが、季節外れの花火、あれもかなり人が来ているんですね。有料で、6,000円か7,000円ぐらいかかりますが。企業戦略でやっているんでしょうが、何かそんなふうに、百聞は一見に如かずなので、各校に5枚とか10枚とか、もし希望があれば子どもたちは無料だから親と来てというふうに、実際に見てもら

	<p>えば、関心とか興味を持っている子が絶対にいるはずなので。モータースポーツだって、行ってみたら楽しかった、おもしろかった、行ってみたいという女の子もいるとか。知らないとか全く興味・関心は動かないので、関わらせることが大事なので、何かそのための仕掛けというか、作戦というか、それをやって観てもらおう。そうすると、ロコミでとか広がるのではないかなというふうに思ってお話を聞きました。</p>
船迫教育長	<p>招待券というアイデアが出ましたし、なにせこれ、つづくつながるAZ9という、そういう意味合いにも捉えられますからね。いろいろとアイデアを出して、一人でも多く参加して、脈々と続いていくようにということで頑張っていければと思っています。</p>
半沢委員	<p>意外と子どもたちのほうがアイデア持っているかもしれないですね。どうやったらもっと広がるかなというテーマで、団員の子どもたちとワークショップをやるのも面白いと思います。</p>
加藤教育次長	<p>自由な発想でちょっと考えてみたいと思います。</p>

### (3) その他

加藤教育次長より、教育に関する事務の点検評価の見直しについて、ご説明申し上げる。

( 質 疑 )	
半沢委員	<p>私が言っているのは、評価のための評価でエネルギーを使うのはどうなのかと思います。重点項目でいいんじゃないのかというのが一つとあとは、どういうふうに評価委員を選ぶのかという問題もちろんです。私は大変すばらしい活動をしているというふうに思っているの、それを評価してもらうのに、特にえずこホールについては、やはり住民の声というのを何らかの形で入れてほしいと思います。評価委員に住民を入れるかどうかというよりも、例えば自己評価の時の段階で、きちんとバックデータをもって評価をして、そして有識者にやってもらうということなのかなと思っています。それから教育委員会と評価委員の問題って別だと思うのですが、教育委員会のことについて言うと、やはりここは女性委員の問題であったり、レイマン・コントロールの原則からいくと、これは私も含めてですが、見直す必要は当然あるのではないかと思います。ちょっと日本の教育委員会制度の原則から外れている部分が正直あります。この問題と評価問題は別問題なので、それは分けて考える必要があるだろうというふうには思います。</p>
船迫教育長	<p>評価の評価者選定、評価の方法について、非常にご苦労いただいているなど、今の説明を聞いて思いました。次年度に向けて、集まらなくてもできる方策というのも、この時代なのでなんらかの形で事前にそれぞれの場所で検討して、それをまた集約するという形で進める方法も含めながら進めていければと思っていますので、引き続きどうぞ検討よろしくをお願いします。</p>

玉淵館長より、近々に開催する主催公演（3事業）について、チラシにてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

### 13. 閉 会 午後4時25分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

令和4年11月25日

教 育 長

署名委員